

第40回

家電から出る蒸気による 乳幼児のやけどにご注意!

乳幼児がやけどを負ったという事故情報

- ・キッチンの床に置かれた電気ポットでお湯を沸かしているときに、湯気が出ている蒸気口に手を当ててしまい、やけどを負った。キッチンに柵は設置されていなかった。

(10カ月、男児・手指Ⅱ度熱傷*1)

- ・炊飯器をキッチン内の高さ60～70cmの引き出しの上に置いていた。普段はキッチンに柵をしているが開いていた。母親が泣き声で気づくと炊飯器の蒸気口に両手を置いていた。

(1歳2カ月、男児・手指Ⅲ度熱傷*2)

家電の中には、電気炊飯器、電気ポット、電気ケトル、加湿器(スチーム式)など、使用中に高温の蒸気が出るものがあります。これらの高温蒸気に触れてしまうと、やけどを負う可能性が高く、大変危険です。

●テスト結果をもとにしたアドバイス

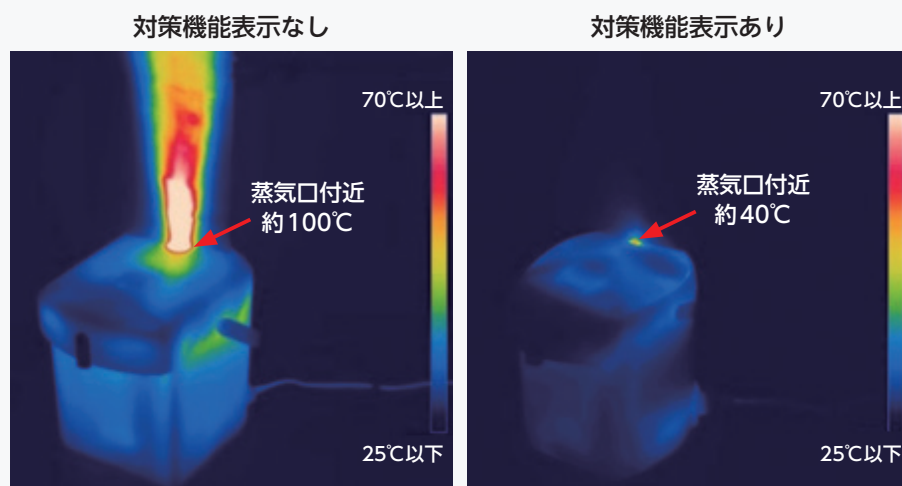
(1) 高温蒸気が出る家電の蒸気口や注ぎ口の真上では100℃近く、上方10cmの位置でも約80℃になるものがありました(写真左)。

高温蒸気は数秒間触れただけで、やけどを負うおそれがあります。特に乳幼児は、大人より皮膚が薄いため、やけどのダメージが皮膚の奥深くにまで及び、重傷化します。乳幼児が蒸気に触れることがない位置に置くようにしましょう。

(2) 高温蒸気が出る家電の中には、蒸気レス、蒸気カット、蒸気セーブなど高温蒸気への対策機能を表示したものもあります。そのような電気ポットの蒸気口付近は、対策機能の表示がないものより60℃以上低い温度でした(写真右)。

高温の蒸気が出る家電を購入する際、特に乳幼児のいる家庭では、やけど防止のための対策機能が表示されたものをご購入することを積極的に検討しましょう。

写真 電気ポットの湯沸かし中の温度分布状況



*1 やけどは深さによって、大きく分けると3段階に分類される(熱傷深度分類)。Ⅰ度は表皮まで、Ⅱ度は真皮まで、Ⅲ度は皮下組織まで傷害が及んだもの。一般社団法人日本創傷外科学会「やけど(熱傷)」<https://www.jsswc.or.jp/general/yakedo.html> より

*2 Ⅲ度熱傷部位に細菌感染症を併発したため入院

参考：国民生活センター「家電から出る蒸気による乳幼児のやけどにご注意！-炊飯器、ポット、ケトル、加湿器(スチーム式)について-」(2021年9月2日公表) https://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20210902_3.html